

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年 6月 1日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4674200060
法人名	社会福祉法人伸志会
事業所名	グループホームのぞみ
所在地	鹿児島県薩摩川内市祁答院町蘭牟田2103-6 (電話) 0996-31-8101
自己評価作成日	平成28年 6月 1日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成28年6月30日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・自然豊かな環境の中にあり、近くには湿地帯やベッコウトンボが見られる蘭牟田池自然公園がある。ホームには、温泉地ならではの温泉があり、ゆったりとお湯に浸かり、心と身体を癒しながら、のんびりと生活されています。

・同敷地内にクリニック、認知症デイサービス、隣接して同法人の特別養護老人ホーム等もあり、医療福祉の連携を取りながら、安心して生活できるようにしている。

・家庭的な雰囲気の中で、一人ひとりのペースを大切にし、居室は畳を敷いてあり、ダンスや椅子等自宅で使っておられた物を持ってこられ、心地よい部屋作りをし、昼寝等一人でゆっくりとされる時間もある。家事等は持てる力を発揮して頂き、食事の準備の野菜切り、食後の食器洗い、洗濯物干し、たたみ等できる事はスタッフと一緒に役割を持ちながらやって下さっている。

・食事は管理栄養士の献立で管理され、月1回程度の給食委員会では、行事食や食事量の検討等も行っている。行事食(おせち料理、節分、ひな祭り、あく巻等)もですが、保存食(梅干、梅酒、らっきょう漬、干し大根作り等)も入居者様の力を借りて作り、季節を感じていただく機会としている。

・外出の機会として毎週火曜日にクッキングデイを設け、交替で買い物に出かけている。また季節の花見、お茶飲みに行く等計画している。

・レクリエーションも入居者様とのコミュニケーションの大切な時間と考え、関わりを持って楽しく過ごせるように様々な内容を考え行うようにしている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ．理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念をリビング等に掲げ、職員全員で共有している。理念に繋がるキャッチフレーズを毎年考え、今年度は「ありがとうは元気の源」である。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	事業所自体が地域の一員としての交流はないが、地域の方々との交流は、2ヶ月に1回のボランティアの訪問、行事や受診時等にできている。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	中学生の福祉体験や高校生の実習の受け入れを行い、事業所の力を活かしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回の会議を開催している。その際は、活動等を掲載した新聞を地域の方々に見ていただけるよう、支所やコミュニティ、在介に置かせてもらっている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議に出席して下さっている担当者がいらっしゃるため、その際に報告したり、電話で尋ねたりして連携を取っている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	やむを得ない場合を除いて、玄関の施錠はしていない。身体拘束のリスク等も理解し、拘束をしないケアに取り組んでいる。玄関には鍵はかけず呼び鈴をつけている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止に関する事項を職員で考えながら、特に言葉の虐待については常に注意しながらケアを行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	制度に関する理解を努めている。現在活用されている方はいらっしゃらないが、今後必要な方がある時は支援できるようにしていきたい。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居が決定すると、説明を行う以前に契約書、重要事項説明書をお渡しし、読んでいただき、入居日に詳しく説明を行うようにしている。改定があった場合には説明を行い、同意を得ている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	年1回開催する家族会、また年1回程度、家族へのアンケートを行い意見をいただくようにしている。日頃の面会時にも意見をいただけるようにしている。面会簿に意見欄を設けてあり、意見を書いて下さる方もある。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員会議やケア会議、その他面談等で職員の意見や提案の機会があり、反映されている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員個々の努力や実績等をどの程度把握されているかは分らないが、環境、条件の整備には努力して下さっている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設内研修は全職員の参加、施設外研修には、必要な研修を必要な職員が参加できるようにし、育てる取り組み、質の向上に繋がっている。研修会参加後には報告を行い、全職員で共有できるようにしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同系列のGHと勉強会を昨年1回開催することができた。今年は回数を増やしていきたい。GH協議会の研修で交流する機会があり、交流まではいかないが、他事業所の話を聞く機会にはなっている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居の決定前にご本人様と面談をし、まずは顔を知っていただくことから始め、話に耳を傾けるようにしている。ホームの見学をしていただいたり、以前には体験をしていただいたこともある。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居の段階でこれまでの生活の様子やこれからどのように生活してほしいか等を尋ね、話をしっかりと聞くことにより関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	まずは、グループホームで落ち着いた生活を送っていただけるよう、本人に寄り添い、家族の協力をお願いしながら、初期の支援を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員はできない所を手助けするということを基本にし、暮らしの中では役割を決め、共に生活するという関係作りをしている。一緒に行うことで、どうしたら良いか尋ねたり、教えてもらうことも多い。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員ではどうにもならない所は家族へお願いし、支えていただいている。内科以外の受診には家族に付き添い行っていただくようにしている。日々の様子を伝える。行事への参加等により、本人と家族の絆を大切にし、誕生日も皆で祝っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	クリニックの受診時は知り合いの人や地域の人に会う機会となり喜ばれている。家族以外の知人や近所の方々も気軽に面会に来て下さり、ゆっくりお茶を飲みながら過ごされている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士のこれまでの関わりを見ながら、食卓の位置やソファに腰掛けられる位置等気をつけている。会話が進む関係も大切にしている。居室にいらっしゃる方には、レクの参加の声かけをしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居され、特養に入所となられた方々、またご家族とも行事等で逢えた時には声をかけるようにしている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の生活の中で言動や表情からくみ取り、不安なく生きがいを持って暮らせるように支援している。困っていることや不安なことに耳を傾け、できるだけ本人の思いを大切にしている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの利用経過等は、情報としていただけるが、馴染みの暮らしや生活環境は入居されてから少しずつ本人や家族に伺いながら把握している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一日の過ごし方については、その方の体調に合わせ自分のペースで生活していただき、有する力を見極め、発揮できるようにしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	課題とケアのあり方について、家族には面会時に尋ねたり、月1回のケア会議で全職員で話し合いを行いその方に合ったケアの方針ややり方を検討し、介護計画を作成している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日常生活記録として食事、水分量、排泄、プランを一つにまとめて記録している。またその日の特記すべき事項を個人録に記録し、申し送りをする。またその他の連絡事項は連絡帳にて情報共有をしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	日常に必要な物や衣類等の買い物をしたり、急な他科受診等を行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	体操や踊りや工作はボランティア訪問で楽しみ、地域の行事（奉納踊り）の見学や花見等の外出で暮らしを楽しむことができるように支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医は入居の際にはほとんどの方が同敷地内にあるクリニックに変更されている。敷地内にあるため、適切な医療を受けられるということで家族も安心されている。歯科や精神科は往診にて診ていただいている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員は勤務していないが、介護職員が気付いたことや気になることはかかりつけ医を受診し相談するようにしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院は協力病院への入院が多いがその他の病院でもできるだけ面会に行くことで安心されるようにし、ソーシャルワーカーと情報交換をしながら、早期の退院へ繋がるようにしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合や終末期のあり方については、契約時に説明を行っている。普段の様子をできるだけ家族に伝え、今後のことを考えながら、グループホームでできることを説明している。ターミナルケアは行っていない。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	AEDを設置してあるため、AEDの講習会に参加し、急変時等に使用できるようにしている。応急手当等の定期的な訓練を行っていないので訓練の必要がある。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災に対する避難訓練は年2回以上行っているが、地震や水害時の訓練を行っていない。夜間の火災訓練は地域の消防団長さんや近隣の住民や家族にも参加していただいている。地震や水害時の訓練も行っていきたい。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の大先輩ということを常に考えながら、誇りやプライバシーを大切にし、言葉かけや対応をするようにしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	いろいろな場面で自己決定ができるように声かけし、また多くの機会を作りできるだけ希望に副って支援している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人にとって悪い状態になるようなことを除いては、希望に副った支援ができるようにしているが、行事等の時には、職員の都合に合わせることもある。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	身だしなみには常に気をつけて手助けを行い、整髪も声かけによって行っていたり、散髪は時期をみて移動散髪をお願いしている。外出時はいつもと違うおしゃれをさせている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事準備として一人ひとりのできる力を借りて野菜切りや食器洗いを職員と一緒にやっている。週1回クッキングデイを設け、夕食のメニューを考え、買い物に職員と一緒にいかれている。好き嫌いには、工夫をして食べていただいている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養的には管理栄養士の献立メニューにより、バランスの取れたものを提供している。一人ひとりの状態に合わせて食事量も調整している。水分量にはとても気をつけ飲み物も味を変えるなどしながら、こまめに飲んでいただいている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケア時にはそれぞれの能力に合わせて声かけ、手伝いを行いながら清潔保持に努めている。夕食後は義歯を外し洗浄している。モアブラシを使用し、舌磨きもしていただいている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄に関してもその方の能力に応じた支援に心がけている。入居時リハビリパンツを使用されている方はできるだけ綿パンツ（尿取りパット使用）へ変えられるように排尿のリズムを把握しトイレの声かけや誘導介助を行っている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘対策として、毎日の朝食前の牛乳、10時にヨーグルトを食べていただいている。水分摂取量にも気をつけ、体操を行ったりもしている。便秘薬も服用されている方も多いが、その時の排便状態に応じて調整している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	温泉を引いてあるので温泉入浴を楽しんでいただいている。(一日置き)その時の気分に合わせて時間を変更したり、翌日に変更したりしている。その日の入浴者には声をかけ、着替えの準備をしていただいたり、一緒に準備したりしている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その方の習慣に合わせた時間に休んでいただいたり、昼寝をされたりしている。昼寝は夜の安眠を考えて、長くならないように声かけしている。また、朝いつもの時間に起きられなかった時には、自分で起きられるまで休んでいただいている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	できるだけ一人ひとりのくすりについて理解するように心がけている。薬の変更があった場合は、症状のに変化がないか、特に気をつけている。服薬支援は利用者に合わせて、袋渡しする、開けて渡す、口に入れ飲み込まれるまで確認する等している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活に張り合いがあるように、役割を決め、得意分野で力を発揮していただき、職員と一緒にやっている。外出の機会を増やし気分転換ができるようにしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	その日の希望に副っての外出はなかなか難しいが、希望があれば支援が出来るように努め、墓参り等は家族にお願いしている。行事で外出を計画している、また2年に1回は家族と一緒に遠足も計画している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を持つことが大切なことは理解しているが、所持はせず、いつでも希望があれば使用できるように預かっている。心配される方はあるが、預けることで安心されている。クッキングデイの時や外出「お茶飲み」の時にはお金を使える機会にしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	年末には年賀状を書いていたが、家族等に出しているが、その他は、手紙を書かれることはほとんどない。希望があれば、電話をして話されている。家族から定期的に電話して下さり話されている方もいらっしゃる。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共同の空間には、季節を感じられるように花を生けたり、季節の飾りをしている。リビングや廊下には作品や行事の写真を飾り、季節を感じられるようにしている。エアコンや空気清浄機、加湿器にて、温度や湿度にも気をつけ、カーテンで光の調節を行う等工夫している。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食卓の位置はトラブルにならないよう、また会話が出来る同士など、様々なことを考慮して決めている。リビングではソファにゆったりと腰かけ、テレビを見たり、会話を楽しんだり、時には居間で一人だったり、思い思いに過ごされている。車椅子や押し車の使用が多いため、環境作りの工夫は課題である。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は入居時、自宅で使用されていたタンスや飾られていた写真等を持って来ていただき、家族に部屋作りをしていただいている。必要であればテレビを持ち込んでおられる。手作りのカレンダーや写真を貼り、居心地よく過ごせるようにしている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全に歩行や立ち上がりが出来るように手すりを設置してある。トイレや浴室が分るように表示をしたり、各部屋には名札（表札）を掲げている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない